

平成 28 年度

事業計画書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人 寿町勤労者福祉協会

次の目的及び経営方針に基づき事業を行います。

目的

労働者の福利厚生を図るとともに地域住民の福祉に関する事業を行い、もって労働者の勤労意欲の向上と地域住民の福祉向上に資することを目的に運営する。(定款第3条)

経営方針

- 1 施設利用者にとって、安全で衛生的な環境を提供する。
- 2 地区住民のニーズに沿った事業を展開し、福祉・保健・医療などサービスの向上を図る。
- 3 寿地区の地域団体及び行政との連携により、公益法人として、寿地区の健全で明るいまちづくりに貢献する。
- 4 運営経費の適正化を図るなど経営の改革を進める。

I 事業計画

1 会議

(1)理事会 理事5人、監事1人（平成28年3月1日現在）

次のとおり年2回以上開催します。

① 第1回 平成28年6月予定

ア 平成27年度事業報告及び決算の承認

イ 理事長の職務執行の状況報告

ウ 第1回評議員会の日時、場所、目的事項

② 第2回 平成28年第1回評議員会後予定

代表理事並びに業務執行理事の選定・解職

③ 第3回 平成29年3月予定

ア 平成29年度事業計画及び予算案の審議等

イ 第2回評議員会の日時、場所、目的事項

その他、業務執行の決議、職務監督等、必要に応じて実施します。

(2)評議員会 評議員6人、監事1人（平成28年3月1日現在）

次のとおり年2回以上開催します。

① 第1回 平成28年6月予定

ア 平成27年度事業報告及び決算の承認

イ 理事の選任

② 第2回 平成29年3月予定

平成29年度事業計画及び予算案の報告等

その他、事業運営に関する重要事項の決議、執行機関の監督等、必要に応じて実施します。

(3)経営改善委員会

総合的で効率的かつ効果的な協会の運営並びに経営環境の変化に即応した、的確な経営判断を行うため、月に2回開催します。

理事長、管理課長、庶務班長、業務班長、医療班長、他職員 参加

2 寿町総合労働福祉会館(仮設施設)の管理運営

3月28日(月)より当協会は「寿町総合労働福祉会館(仮設施設)」(以下「仮設施設」)での営業を開始します。

仮設施設概要

名称	寿町総合労働福祉会館(仮設施設)
所在地	横浜市中区松影町2丁目8番地の8(松影公園予定地内)
敷地面積	約753㎡
施設規模等	複合施設(診療所、福利厚生施設、職業安定所) 鉄骨造り・地上3階建て 建物延べ床面積1317.36㎡
施設内容	1階 診療所 2階 デイケア・職業安定所 3階 図書室・娯楽室・事務室



(1)診療所・直営（公益目的事業 2）

診療所の管理運営を通じて地域や関係機関と連携した医療サービスを提供します。

平成 28 年度事業目標

平成 27 年に引き続き、横浜市との協約に基づき健康診査の拡充に努めます。地域医療を支える診療所として、患者に寄り添い、支える医療を推進します。

①診療科目及び診療日(開所予定日数 243 日)

	月		火		水		木		金		土 日
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休診日
精神科					○	○	○		○	○	
デイケア	10～16 時				10～16 時				10～16 時		
薬局	○		○		○		○		○		

午前… 9 時 30 分～12 時 05 分

午後…13 時 50 分～17 時 50 分

※薬局の営業は平成 28 年度より午前のみとなります。

②利用者見込等

診療日	月曜日～金曜日（開所予定日数 243 日）		
延利用者見込	28,000 人 1 日平均約 115 人	内科 精神科 デイケア DOTS(*)	18,000 人 6,500 人 1,400 人 2,100 人
診療所スタッフ (平成 28 年 4 月 1 日予定)	医師 4 名、看護師 5 名、薬剤師 2 名、放射線技師 3 名、 医療ソーシャルワーカー 2 名、作業療法士 1 名、 精神保健福祉士 1 名、医療事務 3 名、事務職 3 名、 アルバイト 2 名 計 26 名		
沿革	昭和 54 年 7 月 診療所開設（週 3 日午後のみ診療） 57 年 4 月 週 5 日診療開始 平成 10 年 3 月 診療所を 3 階から 1 階へ移設 12 年 6 月 精神科を新設 15 年 6 月 自立支援施設「はまかぜ」入所者健診開始・午前		

	診療開始 21 年 4 月 精神科デイケア「なごみの里」開設 28 年 3 月 仮施設での営業開始
--	---

*DOTS

結核治療・アルコール依存症治療等において、医療監視の下に、看護師等が直接確認しながら、患者の服薬管理を行う。

(2)福利厚生施設等

福利厚生施設等の管理・運営を通じ、福祉サービスの提供や、住民の生きがいをづくり
に寄与する事業を行います。

平成 28 年度事業目標

仮設でも継続して営業していることを周知、アピールし新規利用者の増加を図ります。
サービスを充実させ既存利用者の満足度向上を図ります。

①直営（公益目的事業 1）

娯楽室

将棋 10 組、囲碁 6 組、卓球台 1 台、40 型液晶テレビ 1 台等を備え、住民の方
の交流・憩いの場を提供します。

開室時間	9 時～20 時（第 1・3 土曜日は 9 時～17 時）
延利用者見込	40,400 人 （1 日平均約 151 人）
開室予定日数	267 日
休館	第 2・4・5 土曜日、日曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

図書室

各種図書 6,400 冊を備え、読書の場を提供します。

開室時間	9 時～20 時（第 1・3 土曜日は 9 時～17 時）
延利用者見込	57,400 人 （1 日平均約 215 人）
開室予定日数	267 日
休館	第 2・4・5 土曜日、日曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日
図書貸出見込	18,000 冊

会議室・洗濯場

仮施設では営業しません。

②委託（公益目的事業 1）

案内警備

会館内外その他関係機関等の案内業務と警備を行います。また、急病人に対する救急車の要請等を行います。

開所時間	平日 8 時 30 分～20 時半 第 1・3 土曜日 8 時 30 分～17 時 開所時間以外は機械警備を実施します
延利用者見込	4,300 人 （1 日平均約 16 人）
開所予定日数	267 日

③委託（収益目的事業 1）

自動販売機

1 階入口および 3 階に計 3 台設置します。売上本数に応じた設置収入を収益とします。

延売上数見込	28,900 本
--------	----------

浴場・ロッカー室

仮施設では営業しません。

寿クリーンセンター

下記に移転します。

横浜市中区寿町 3 丁目 9 番 7 丸光ビル

(3)建物維持管理（公益目的事業 1）

会館利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくため、建物の維持管理を行います。

① 各種設備点検整備等関係

ア レントゲン設備保守点検

イ エックス線漏洩線量測定

ウ レセプトコンピュータシステム保守点検

② 建物管理委託関係

- ア 警備業務
- イ 電気設備保守業務等
- ウ 一般廃棄物処理業務
- エ 感染性、廃液、産業廃棄物処理業務

③ 各種清掃等関係

- ア 館内清掃
- イ 寿地区公衆便所の清掃

(4)平成 28 年度の新規・拡充の取組

①診療事業

○健康診査の拡充(協約事項)

- ア 平成 27 年度に引き続き、地区住民の健康意識の向上のため、地域や関係機関等と連携、健康診査の受診を推奨し、受診者数及び診療収入の増加を図ります。
- イ 結核検診コラボ等、連携を進めます。
- ウ 地域内の介護事業者や周辺地域を対象に予防接種や健康診査のお知らせを配布します。当協会の広報誌「いぶき」に健康診査関連の記事を掲載します。

○デイケアの拡充

デイケア利用者増加を目指し、精神科診察時の患者への呼びかけ、デイケアメニューの魅力づくり、ポスター等による周知など働きかけを行います。

○電子化の推進

レントゲン写真や、レセプトコンピューターの請求についての電子システムを推進し、業務の一層の効率化を図ります。

②福利厚生事業

○図書室・娯楽室のサービス向上

- ア 図書室内に「おすすめ本コーナー」を設置します。隔週・隔月など定期的に 5～10 冊の図書を展示し職員による推薦文を付記します。
- イ 利用者を対象にしたアンケートを実施し、利用者が仮設の図書室娯楽室に何を求めているかを調査し、運営に反映します。

○安心、安全な図書室・娯楽室

- ア 絵画や書道など地域の作業所等の作成物を展示し、清潔で和める環境づくりを進めます。
- イ 会館利用者向けの防災啓発、避難訓練などを実施します。
- ウ 禁煙や荷物の放置禁止など利用にあたっての注意事項を告知し、利用者皆が安心安全に利用できるよう努めます。

○利用者と職員が一体となった取組

図書室、娯楽室の清掃や、健康づくりの一環として「ウォーキングマップ」に着手し、地域と連携したウォーキング会を実施するなど、利用者と職員が一体となった取組みを行います。

○図書室・娯楽室の宣伝

ちらしやポスターを利用し、「いぶき」への折り込み配布、周辺地域や施設、店舗への営業を行います。

③会館の再整備事業

横浜市の行う再整備事業に協力します。

3 横浜市寿生活館の管理運営・指定管理（公益目的事業 3）

住居のない方及び地域住民の方の福祉の向上を目的に、生活支援を行う他、地域活動や交流の場として多くの方の利用に供します。地元代表、学識経験者、行政等で構成した寿生活館運営委員会を設置し、協議のうえ管理運営を行います。

横浜市から第3期(平成28～32年度までの5年間)指定管理を当協会が受託します。

(1)寿生活館運営委員会

①第1回 平成28年7月予定

協議事項

ア 平成27年度事業報告及び収支決算報告

イ 平成28年度収支予算

ウ 平成29年度予算に関する要望事項

②第2回 平成28年12月予定

協議事項

ア 平成28年度上半期施設利用状況報告

イ 平成28年度上半期高齢者事業・文化事業の実施報告

ウ 平成28年度予算に関する要望事項の進捗状況について

(2)事業内容

①施設の管理・運営

平成28年度事業目標

生活困窮者や住民の多くの方々に安心して利用されるよう、サービス向上と、経営課題である経費節減を実施します。

(3階)

児童ホール

地区内外の小中学生等児童のため、積み木、跳び箱、マット運動、卓球等の遊びの場を提供します。

開室時間	9時～21時（土日は17時まで）
延利用者見込	児童 5,800人（1日平均約 20人） 大人 2,300人（1日平均約 8人）

開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

女性子ども室

女性及び子ども達の交流を目的に、テレビ観賞、読書や会話を楽しむ場の提供をします。また、おやつやパンづくり等の利用に供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	児童 9,300 人（1 日平均約 31 人） 大人 3,210 人（1 日平均約 11 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

児童図書室

各種図書 1,700 冊を備え、読書の場を提供します。その他にも工作やゲーム等を楽しむ場を提供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	児童 9,900 人（1 日平均 33 人） 大人 2,000 人（1 日平均 7 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

寿学童保育

3 階児童ホール、女性子ども室、児童図書室、湯沸室(調理室)を利用し、学童保育を行います。

開室時間	13 時～18 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	児童 25,000 人（1 日平均 84 人） 大人 4,300 人（1 日平均 15 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

(4 階)

会議室

地域の各種団体の打合せ、識字学校や、AA(*)等の利用に供します。

利用時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	980 人（1 回平均 12 人）
利用回数見込	81 回

休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日
----	-----------------------------

* A A（アルコールクス・アノニマス）とは、アルコール依存症から回復するために助け合う共同体

集会室(娯楽室)

液晶テレビ 1 台を設置し、地域住民・施設利用者の憩いの場・交流の場としての利用に供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	7,600 人（1 日平均 25 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

洗濯室

全自動洗濯機 3 台、ガス乾燥機（2 連式）2 台を設置し、自由な使用に供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	55,850 人（1 日平均 188 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

シャワー室

ガス湯沸機（2 連式）2 台、シャワー器 2 台を設置し、自由な使用に供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	60,000 人（1 日平均 202 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

湯沸室(炊事場)

流し台 1 台、調理台 1 台、ガスコンロ 2 台を設置し、施設利用者の台所として自由な使用に供します。

開室時間	9 時～21 時（土日は 17 時まで）
延利用者見込	9,500 人（1 日平均 31 人）
開室予定日数	297 日
休室	月曜日、祝日および 12 月 29 日～1 月 3 日

②高齢者事業及び文化事業(ことぶきスマイル事業)

平成 28 年度事業目標

参加者のニーズにあった事業を実施し、参加者を増やします。

事業一覧

事業名	開催頻度	参加見込	
		平均	延
囲碁将棋の日	月に 1 度	18	216
映画クラブ・映画会	月に 1 度	29	348
カラオケの日	月に 1 度	21	252
料理教室	2 ヶ月 1 度	16	96
寿作品展(*1)	年 2 回	856	1,712
バスハイク	年 1 回	24	24
お花見	年 1 回	15	15
スマイルゴルフ	月に 1 度	13	156
アレンジボウリング	月に 1 度	15	180
茶話会&講座	3 ヶ月に 1 度	15	60
(新)♪歌声喫茶♪または♪歌声クラブ♪	3 ヶ月に 1 度程度	15	60
(新)🐾ことぶき散歩🐾	3 か月に 1 度程度	12	48

*1 作品展については参観者を計上。開催場所については検討中です

(3)建物維持管理

利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくため、建物の維持管理を行います。

設備点検、清掃等関係

- ① 清掃
- ② 簡易専用水道検査
- ③ 貯水槽洗浄および水質検査
- ④ 一般廃棄物処理業務
- ⑤ 消防用設備点検
- ⑥ ガス乾燥機保守点検
- ⑦ 害虫駆除

(4)平成 28 年度の新規・拡充の取組

①生活館事業(3・4 階)

○開館時間内における女性入浴の実施

これまで、女性利用者の対応は閉館後に実施していましたが、利用時間内に入浴できるようします。

○利用者と協働した避難訓練の実施

大規模地震などの災害発生に備え、生活館全体での避難訓練を定期実施します。利用者への防災啓発、職員の対応強化に向け訓練を実施します。

②高齢者事業・文化事業

○♪歌声喫茶♪または♪歌声クラブ♪

参加者皆で、座ってお茶を飲み、リラックスしながら曲にあわせて歌います。曲目はリクエストを募り、参加者の方々が良く知る、古き良き歌を大きな声で唄います。時にはアコーディオンやピアノの生演奏を取り入れます。

○🐾ことぶき散歩🐾

目的地を決め参加者と一緒に散歩を行います。目的地は所要時間 1 時間程度の範囲で参加者から希望を募ります。散歩を通して、脳の活性化やストレスの解消を図り、参加者同士での会話や、友達作りを推奨します。これまでのスマイル事業に来たことが無い人たちや、初心者でも入りやすい事業を目指します。

○「お友達紹介カード」等周知の拡大

図書室や娯楽室等での声掛け、簡易宿泊所でのポスターの掲示など既存の周知に加え、現在の参加者の方々に「お友達紹介カード」を配ります。

参加者から友人・知人にカードに渡してもらい、受け取った人が実際に来てくれた場合、紹介してくれた人に景品をお渡し、新規参加者の増加を目指します。

○「スマイルカード」の導入

事業参加ごとにスタンプを押印する「スマイルカード」を参加者に配ります。貯まったスタンプの数に応じて景品を贈呈する等行います。景品には、参加者が事業で楽しむ様子を写真にしたカレンダー等、スマイル事業ならではのものを用意します。参加者の継続参加を促進します。

4 仕事チャレンジアシスト事業・受託等（公益目的事業 4）

中区の生活保護受給者等の方々に対し、生活リズム、勤労意欲の維持・向上のため、就労体験や地域貢献事業及び生活・社会面の講義などのプログラムを実施します。

「仕事チャレンジ講座」を修了したもののすぐに就労が決まらない方や、講座受講への課題が多く見極めが必要な方に、一般就労ができるまでの支援も行います。

平成 28 年度事業目標

支援プログラムの拡充と見極めの充実、座学プログラムの構築と実施を進めます。

(1)業務内容

①清掃活動

地区内（道路、公園、公衆トイレ、施設等）清掃、樹木の剪定、粗大ごみ収集等

②塗装

施設の壁面塗装、公衆トイレの落書きの除去作業等

③地域の工作物の作製・修繕

地区内プランターの作成、貯水桶の修繕・設置等

④地域行事への協力

各種行事の準備・片付け、荷物の運搬等

(2)実施予定日数等

事業実施日 月～金曜日の 9 時～12 時

延日数 243 日

(3)延べ参加見込者数

1,200 人

(4)平成 28 年度の新規・拡充の取組

○支援プログラムの拡充と見極めの充実

作業の内容を再検討し、見極めの面談の回数を増やします。参加者が潜在的にもっていた技術等の可能性を探ります。

○座学プログラムの実施

生活の質の向上、社会との関わり方、就労に対する取り組みの心構え等の講座も組み込み、集団での意思疎通を図るとともに、発言を促すことによって社会性の習得を図ります。

○事業周知用チラシの配布

事業内容の周知を目的に、当協会の作製したチラシの会館内掲示や、区役所のケースワーカーを通じた配布を行います。

5 地域福祉保健推進事業（公益目的事業 1）

超高齢化が進み、単身高齢者の方が多く居住する等の地域特性を踏まえ、地区内の誰もが安心して健やかに暮らし、自立が促進され、お互いに支えあい、交流できるまちづくりを目指して、地域福祉保健を推進する各種事業に取り組めます。

(1)自己啓発教室

参加者の自立を支援し、生きがいを持って充実した生活を送れるよう、地域と連携し、寿地区を盛り立てる要素を取り入れた継続性のある講座を展開します。

「健康」、「生きがいづくり」、「防災啓発」を主なテーマとし、人との触れ合いの場や、健康維持・老化防止などについて様々な学びの場を提供します。

予定講座の例

クリーンウォーキング	横浜市中スポーツセンターの指導のもと、地区内及び周辺のウォーキングを行いながら道路のゴミ拾い等清掃活動を行います。
食と栄養のバランス	横浜市中区福祉保健センターの指導のもと、単身高齢者向けの食育講座を行います。
健康体操教室	横浜を中心に活動するサッカークラブチーム、Y.S.C.Cのトレーナーの指導のもと、足腰が弱い高齢者でもできる体操教室を行います。
自助と共助による防災減災	消防指導員有資格者の指導のもと、災害時の対応訓練やAED使用訓練など行います。
お口の話、たばこの話	横浜市中区福祉保健センターの指導のもと、口腔ケアや禁煙についての講座を行います。

(2)地域福祉事業

① 娯楽大会

寿地区住民の交流の場の一つとして、囲碁、将棋、連珠、卓球大会を開催し、入賞者の表彰を行います。

2日間延参加者数見込 100人

② 年末特別対策

年末特別対策として、住居のない方及び簡易宿泊所居住者等のために、

寿生活館を利用に供します。

期間

1 2 月 2 9 日～3 0 日 9 時～2 0 時

1 2 月 3 1 日 9 時～2 4 時

3 日間延利用者数見込

1,500 人（1 日平均 500 人）

(3)広報事業

① 広報紙『いぶき』の発行

『いぶき』を毎月 1 回(25 日前後)発行し、地域住民及び関係団体に会館・地域情報を提供します。『いぶき』は当協会ホームページにも掲載します。

発行予定部数 年間 8,400 部(月 700 部)

配布予定場所 月 170 か所(寿地区内公共施設、事業所、店舗、全簡易宿泊所他)

② ゆめ会議ニュースの編集

「中区地域福祉保健計画」に基づいて活動している寿地区地域福祉保健計画推進会議「ことぶきゆめ会議」の取組内容を広報するため、毎月 1 回ニュースを編集し、『いぶき』に折り込み地域住民等に配布します。

③ 事業概要『あゆみ』の発行

6 月（年 1 回）に『あゆみ』を発行し、27 年度の当協会の事業や、寿地区での取組みについて発信します。『あゆみ』は当協会のホームページにも掲載します。

④ ホームページの運用

当協会及び寿地区に関する情報等を広く掲載します。

(4)地域連携事業

これまで当協会は、地域の方々、住民の方々と協力しながら様々な行事を実施してまいりました。行事の主な会場として利用していた会館前広場は、建て替えに伴い一時利用不能となりますが、地域と連携しながら、寿公園の活用等会場や内容を工夫し、今後もこれらの行事を継続できるよう努めます。

① ことぶき花いっぱい運動

「ことぶき花いっぱい運動サポーターの会」主催の寿地区内の清掃活動に会員と

して参加し、主に中村川沿いの道路清掃（亀の橋～車橋間）を実施します。

② ラジオ体操

平日（月～金）朝、住民や地域の子どもたち、関係団体職員等が参加して8時20分から10分間程度ラジオ体操を実施します。

④ 鯉のぼり

4月下旬、寿地区自治会との共催により実施します。地域の子どもたちも参加し、全長5mの鯉のぼりをはじめ大小多数の鯉のぼりを飾りつけます。

④七夕祭り

7月上旬、寿地区自治会との共催により寿公園で実施します。全長20mほどの竹に、地域の子どもたちや住民の願いを書いた短冊を飾りつけます。

⑤ ことぶき打ち水大作戦

7月下旬、寿地区自治会との共催により実施します。ヒートアイランド対策として、地域の子どもたちや住民で水を撒きます。

⑥ ことぶき大福祉まつり

11月中旬、ことぶきゆめ会議主催による福祉まつりに事務局として参加します。各地域諸団体が協力して屋台を出店します。

⑦ クリスマスツリー点灯式

12月中旬、寿地区自治会との共催により実施します。

⑧ 平成28年度寿大賀詞交歓会

平成29年2月、実行委員会主催の賀詞交歓会の事務局を担当します。地域内の自治会や関係団体、事業者、行政などが参加し交流を図ります。

⑨ 豆まき大会

平成29年2月初旬、寿地区自治会との共催により、子どもたちも参加し実施します。

(5)地域協力事業

① 寿夏祭り

実行委員会主催による寿夏祭りに協力します。街中をこども神輿や山車が練り歩く予定です。

② みんなの運動会

11 月頃、ことぶきゆめ会議主催による「みんなの運動会」に参加します。寿公園を会場に、地域の子どもたちや住民が参加し競技を行います。

③ 防災訓練

11 月頃、寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会主催の防災訓練に参加します。

④ ことぶき冬まつり

平成 28 年 1 月 1 日から寿生活館をメイン会場として、地域関係団体やボランティアの方々による「ことぶき冬まつり」が行われます。元旦には、餅つきなどが実施されます。

(6)行政との協働事業

① 防災パレードと消防音楽隊による演奏会

10 月頃、防災啓発活動の一環として、寿地区自治会・中消防署等との共催で、地区内でのパレード及び消防音楽隊による演奏会を実施します。【会場検討中】

② 寿地区健康診断（結核及び生活習慣病）事業

中福祉保健センター主催の胸部レントゲン検査などの結核検診(年 2 回)等に協力するとともに、あわせて生活習慣病の健康診査(無料)を実施します。

③ ホームレス相談・支援事業

診療所で、はまかぜ入所時健診等を行い、横浜市のホームレス支援事業に協力します。そのほか、中区役所等と協力し、会館周辺のホームレスの方々の巡回相談を実施します。

(7)平成 28 年度の新規・拡充の取組

①広報

○広報誌「いぶき」新連載の実施

「いぶき」の魅力を高めるため、新連載の企画、連載を行います。

(候補) 寿地区の歴史を同じ構図・風景の今昔 2 枚の写真で振り返る「ことぶき今昔」(仮)、体の部位ごとに疾患や健康法を紹介する「体の話」(仮)、地域の施設・作業所の紹介、図書室今月の一冊など。

②行政との協働事業

○寿地区健康診断（結核及び生活習慣病）事業(再掲)

結核検診にあわせ、生活習慣病等の健康診査(無料)を実施し、住民の方々の健康づくりを進めます。

Ⅱ 経営の方向性及び協約

横浜市の「特定協約団体マネジメントサイクル」により、平成 27 年度から 30 年度までの 4 年間を期間として「経営の方向性及び協約」を横浜市との協議の上作成し、今後これに基づき経営の更なる向上を図っていきます。

1 協約の取組概要

寿地区は近年、単身の高齢者、障害者、要介護者等の一層の増加に伴い『福祉ニーズの高い街』となっています。また、多くの住民が、1 室平均 3 畳という住宅事情の中で日々を過ごしており、生活の質の向上が課題となっています。

こうした地域の現状とニーズに対応して、寿町勤労者福祉協会は、住民をはじめ誰もが、自らの健康に留意して、安全で楽しく充実した毎日を過ごすことができ、自立が促進され、お互いに支えあい、交流しやすい開かれたまちづくりを進める事業を展開していきます。また、当協会の取り組みを支える財政運営と組織体制を構築するため、次の取組を行います。

- 福祉、医療、介護予防、健康づくりなどの包括的な支援を行う事業や、住民の「生きがいづくり」、「地域コミュニティづくり」にかかわる事業などを、ニーズに合わせて幅広く展開する取組。
- 診療事業の拡大や新たな受託事業の確保等により、安定的な財政運営を可能とする取組。
- 新たな事業展開を協会職員が一丸となって支え、推進できる組織づくりを行う取組。

2 協約期間の主要目標

(1) 公益的使命の達成に向けた取組

- ①診療事業の拡大（地区住民の健康意識の向上のための健康診査事業拡充等）
- ②それぞれの居場所・出番・絆づくり事業の実施(仕事チャレンジアシスト事業等)

(2) 事業の再整理・重点化に向けた取組

- ①会館のあり方について、関係機関・地域で検討し、再整備後の会館に必要な機能等について横浜市に提示します
- ②協会のあり方について検討し、会館整備後の協会の役割を定めます

(3) 財務の改善に向けた取組

- ①診療事業拡大による増収
- ②新たな事業開始・増収

(4) 業務・組織の改革

- ①運営効率向上のための組織体制のスリム化
- ②業務の改善・効率化提案表彰制度の導入
- ③組織運営及び地域ニーズに応えるスタッフ充実のための人材育成
(職員研修の充実)

1福祉棟関連

	現会館	仮設会館
診療所	1階 延床面積 約331㎡	1階 延床面積 約308.25㎡ 薬局の営業は午前のみに変更
精神科デイケア	1階 延床面積 約69.1㎡	1階 延床面積 約66.41㎡
娯楽室	2階 延床面積 約174㎡	3階 延床面積 約80.70㎡
図書室	3階 延床面積 約214㎡	3階 延床面積 約103.32㎡
会議室	3階 延床面積 約40㎡	営業しません
洗濯場	2階 延床面積 約20㎡	営業しません
案内警備	1階受付・警備室 床面積 約25㎡	1階案内・警備 延床面積 約13.32㎡ 人的警備と機械警備の併用
自動販売機	1階寿クリーンセンター前、2階娯楽室、3階図書室に計3台設置	1階入り口及び3階に計3台設置予定
浴場	2階 延床面積 約240㎡	営業しません
ロッカー室	2階 延床面積 約32㎡	営業しません
寿クリーンセンター	1階 延床面積 約107㎡	横浜市中区寿町3丁目9番7に移転予定

2労働棟関連

横浜公共職業安定所	横浜港労働出張所 業務課 延床面積 約704㎡	2階 延床面積 約181.31㎡ (共用部除く)
(公財)神奈川県労働福祉協会	寿労働センター無料職業紹介所 延床面積 約646㎡	神奈川労働プラザに移転予定
市営住宅	80戸 延床面積 約4,500㎡	設置されません
全体	敷地面積 3,032㎡ 延床面積 9,632㎡ 竣工 昭和49年9月	敷地面積 753㎡ 延床面積 1,329㎡ 竣工 平成28年3月下旬

※当協会の事業計画に関わる施設状況についてを中心に抜粋して記載しております。

※仮設施設の面積は平成28年3月1日時点の図面を参考に掲載しています。

平成 28 年事業の新規・拡充の取り組み(再掲)

診療事業	
健康診査の拡充 (協約事項)	ア 平成 27 年度に引き続き、地区住民の健康意識の向上のため、地域や関係機関等と連携、健康診査の受診を推奨し、受診者数及び診療収入の増加を図ります。 イ 結核検診コラボ等、連携を進めます。 ウ 地域内の介護事業者や周辺地域を対象に予防接種や健康診査のお知らせを配布します。当協会の広報誌「いぶき」に健康診査関連の記事を掲載します。
デイケアの拡充	デイケア利用者増加を目指し、精神科診察時の患者への呼びかけ、デイケアメニューの魅力づくり、ポスター等による周知など働きかけを行います。
電子化の推進	レントゲン写真や、レセプトコンピューターの請求についての電子システムを推進し、業務の一層の効率化を図ります。
福利厚生事業	
図書室・娯楽室サービス向上	ア 図書室内に「おすすめ本コーナー」を設置します。隔週・隔月など定期的に 5～10 冊の図書を展示し職員による推薦文を付記します。 イ 利用者を対象にしたアンケートを実施し、利用者が仮設の図書室娯楽室に何を求めているかを調査、運営に反映します。
安心、安全な図書室・娯楽室	ア 絵画や書道など地域の作業所等の作成物を展示し、清潔で和める環境づくりを進めます。 イ 会館利用者向けの防災啓発、避難訓練などを実施します。 ウ 禁煙や荷物の放置禁止など利用にあたっての注意事項を告知し、利用者皆が安心安全に利用できるよう努めます。
利用者と職員が一体となった取組	図書室・娯楽室の清掃や、健康づくりの一環として「ウォーキングマップ」に着手し、地域と連携したウォーキング会を実施するなど、利用者と職員が一体となった取組を行います。
図書室・娯楽室の宣伝	ちらしやポスターを利用し、「いぶき」への折り込み配布、周辺地域や施設、店舗への営業を行います。
会館の再整備事業	
新会館の実施設計	横浜市の行う再整備事業に協力します。
生活館事業（3・4 階）	
開館時間内における女性入浴の実施	これまで、女性利用者の対応は閉館後に実施していましたが、利用時間内に入浴できるようします。
利用者と協働した避難訓練の実施	大規模地震などの災害発生に備え、生活館全体での避難訓練を定期実施します。利用者への防災啓発、職員の対応強化に向け訓練を実施します。

平成 28 年事業の新規・拡充の取り組み(再掲)

生活館事業（高齢者事業・文化事業）	
♪歌声喫茶♪または♪歌声クラブ♪	参加者皆が、着席してお茶を飲み、リラックスしながら、曲にあわせて歌をうたいます。曲目はリクエストを募り、参加者の方々が良く知る、古き良き歌を大きな声で唄います。時にはアコーディオンやピアノの生演奏を取り入れます。
🐾ことぶき散歩🐾	目的地を決め参加者と一緒に散歩を行います。目的地は所要時間 1 時間程度の範囲で参加者から希望を募ります。散歩を通して、脳の活性化やストレスの解消を図り、参加者同士での会話や、友達作りを推奨します。これまでのスマイル事業に来たことが無い人たちや、初心者でも入りやすい事業を目指します。
「お友達紹介カード」等周知の拡大	図書室や娯楽室等での声掛け、簡易宿泊所でのポスターの掲示など既存の周知に加え、現在の参加者の方々に「お友達紹介カード」を配ります。参加者から友人・知人にカードに渡してもらい、受け取った人が実際に来てくれた場合、紹介してくれた人に景品をお渡し、新規参加者の増加を目指します。
「スマイルカード」の導入	事業参加ごとにスタンプを押印する「スマイルカード」を参加者に配ります。貯まったスタンプの数に応じて景品を贈呈する等行います。景品には、参加者が事業で楽しむ様子を写真にしたカレンダー等、スマイル事業ならではのものを用意します。参加者の継続参加を促進します。
仕事チャレンジアシスト事業	
支援プログラムの拡充と見極めの充実	作業の内容を再検討し、見極めの面談の回数を増やします。参加者が潜在的にもっていた技術等の可能性を探ります。
座学プログラムの実施	生活の質の向上、社会との関わり方、就労に対する取り組みの心構え等の講座も組み込み、集団での意思疎通を図るとともに、発言を促すことによって社会性の習得を図ります。
事業周知用チラシの配布	事業内容の周知を目的に、当協会の作製したチラシの会館内掲示や、区役所のケースワーカーを通じた配布を行います。
地域福祉保健事業	
広報誌「いぶき」新連載の実施	「いぶき」の魅力を高めるため、新連載の企画、連載を行います。 (候補) 寿地区の歴史を同じ構図・風景の今昔 2 枚の写真で振り返る「ことぶき今昔」(仮)、体の部位ごとに疾患や健康方を紹介する「体の話」(仮)、地域の施設・作業所の紹介など。
寿地区健康診断（結核及び生活習慣病）事業(再掲)	結核検診にあわせ、生活習慣病等の健康診査(無料)を実施し、住民の方々の健康づくりを進めます。